

# 八女市未来づくり協議会

～まちづくり団体の情報誌 第3号～

発行：八女市総務部 地域支援課 TEL0943-23-1224



先進地視察研修（宮崎県：五ヶ瀬ワイナリーにて）

八女市未来づくり協議会では、平成24年12月3日～4日にかけて、校区まちづくり協議会役員と担当職員及び事務局の総数50名で、宮崎県五ヶ瀬町「桑野内地区（夕日の里づくり推進会議）」のグリーン・ツーリズム事業について視察研修を実施いたしました。

「桑野内地区（総戸数211戸）」は、農業経営が中心で、観光施設などが全くなく、山村の原風景、自然、郷土芸能などの豊かな資源が多く残る地域でした。特に、朱に染まる夕日は、地域住民が地域のシンボルとして心に抱く、素晴らしい地域資源でした。この豊かな自然と地域住民の人柄を最大限に活かしながら、グリーン・ツーリズム事業を展開されました。

国のモデル事業として始まったグリーン・ツーリズム事業には、当初、地域内でも不安や疑問の声がわきあがりました。しかし、リーダーと支えるメンバーの「地区を活性化させたい」という熱意と地道な活動により、地域の魅力（伝統行事及び豊かな自然）に気づき住民意識が変わり始めました。今では地区の農家体験プログラムが、県内外・諸外国からの修学旅行地として組み込まれるなど、毎年多くの利用者を迎え入れるまでに至っています。

今回の視察研修により、「地域資源（人・モノ）の利用」と「住民の意識改革」が「地域を変える」ことを学びました。現在、八女市では、地域振興計画の策定のために、「地域資源や課題等」の把握を校区まちづくり協議会ではじめています。今回の研修を生かし、「住民が誇りのもてる地域づくり」を未来づくり協議会としても推進していきます。

**グリーン・ツーリズム** … 都市住民が農山漁村に滞在し、地域の自然文化、人々との交流を楽しむ余暇活動。

《会長あいさつ》 未来づくり協議会会長 草場 雄二郎

昨年7月14日に八女地区を襲った集中豪雨は、甚大な被害を残しました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。この被害により山林、田、畑、道路はもとより、先祖より大事に育ててきた伝統文化さえも壊れた地区もあります。災害復旧には市が先頭に立ち実施頂いておりますが、地域で出来る事は地域で行い、地域と市が協働で行う事は、市と協議の上復旧推進にあたる。これらの活動をまとめたものが「地域振興計画」の基となるものと考えます。今回の災害を教訓に今一度地域を見直し、現在未来づくり協議会が進めています「地域振興計画」を策定することで、地域の復旧をはじめ、地域の将来（住みよい地域）につながるものと確信いたします。



## ○ 八幡校区まちづくり協議会「やはた多目的広場をみんなで作ろう」

### 【事業概要】

八幡校区は米麦農業を中心とした田園地区ですが、農業政策の行き詰まりと後継者不足により、高齢化が著しく進んでいます。近年では、耕作放棄の農地が目立ってきており、農業振興・環境保全・高齢者対策、そして多世代交流などを併せ持つ新しいコミュニティづくりが課題となりました。そこで、耕作放棄地及び荒廃した雑種地を活用し、子どもから高齢者までが、幅広く利用できる「多目的広場」を整備しました。

### 【事業実績】

予定地には、宅地と農業振興地域の農用地がありましたが、1年前から除外と転用を行い、4筆（面積計 4,018 m<sup>2</sup>）の所有者3名の方と貸借契約を交わしてから進めました。まず、実施地区の住民の手により開墾し、協議会内に「多目的広場建設委員会」を設置し、その中で地域住民のスキルを十分に発揮し、レイアウト・設計、運営計画、維持管理要領等を協議しながら、共同作業を基本にみんなの手で広場を整備していきました。

### 【事業効果及び今後の展望】

校区内の各団体に作業を呼びかけ、みんなの手で広場を作り上げましたので、愛着心が生まれスムーズな運営ができそうです。利用については、各行政区の行事や子ども会、老人会等がレクリエーションや軽度なスポーツを行うことができ、高齢者の生きがい、スポーツの振興、健康づくりにつながることを期待できます。



▲ 草刈り作業



▲ グラウンド整備作業

## ○ 北山地区地域振興会議「男ノ子焼の里「秋の陶芸・稲刈り体験」」

### 【事業概要】

北山地区では、少子化・高齢化が急激に進んでおり、祭祀や伝統的な行事が途絶えるなど、地域の貴重な財産を次世代に引き継ぐことが困難な状況となっています。

今回、男ノ子焼が柳川藩の御用窯であった歴史と農村社会の食文化を伝承することを目的に、陶芸と稲刈りの体験ができるイベントを開催しました。また、この事業をとおして、北山地区内外の人々の交流と北山地区がもつ魅力の再認識を図りました。

### 【事業実績】

『期日』 平成24年9月30日（日）

『場所』 男ノ子焼の里

『内容』 ①陶芸体験  
②稲刈り体験

『参加者』 69名（市内53名、市外16名）



▲ 陶芸体験



▲ 稲刈り体験

### 【事業効果及び今後の展望】

- ①交流体験をとおして北山地区の長閑な田園風景の魅力や地域住民の絆を再認識できた。
- ②男ノ子焼の里の活動をPRできた。
- ③保存会メンバー同士の協働精神や郷土愛が醸成できた。
- ④春に開催するれんげ祭りで行う窯開きの時に、今回イベント参加者の陶芸作品が完成することでリピーターの確保に繋がった。

## ○ 星野地区まちづくり協議会「上郷村星のんっ子村づくり事業」

### 【事業概要】

上郷村は、星野地区まちづくり協議会の支部組織として、地域づくり活動を実施しています。

本地区は、1630年代より星野金山で栄えた歴史的史跡が数多い地区です。また、1990年度から教育環境づくりの一環として山村留学児童受入れ事業にも取り組み、都市との交流が盛んな地区です。

今回、地域の資源を生かした都市との交流事業をさらにステップアップしようと、地域と学校との連携事業の「ディスカバー仁田原」「宝物さがし」の事業実績を基に、地域の観光名所や歴史的史跡などの情報の充実を図ろうと地域案内板や地域のバス停兼観光案内所の整備の取り組みを行いました。



▲ 地域バス停留所兼観光案内所

### 【事業実績】

- ①上郷地区の観光案内板3箇所設置。
- ②誘導案内サイン設置
- ③地域バス停留所兼観光案内所（憩いの場）設置。

### 【事業効果及び今後の展望】

本地区の地域資源を再発掘並びに新たな資源の活用を見出し、地元の技術・産業・文化を大切な財産として生かします。

住民自らが、個々の経営者としての意識を高め、経済的にも潤う元気な村づくりが期待されます。



▲ 上郷地区よかところマップ

## ○ 矢部地域づくり協議会「日向神千本桜を守ろう」

### 【事業概要】

矢部地域づくり協議会では、植栽後50年を経過した日向神ダム湖畔の千本桜を、次世代に残す観光遺産として存続させるため、道路工事により切り倒されたり、枯れ朽ちたりした個所に桜苗木の植栽を行いました。また同時に、昨年九州北部豪雨により河川に堆積したままの流木等の除去を行い、二次災害の恐れをなくすとともに地域の宝である景観を取り戻す活動にも取り組みました。

### 【事業実績】

『期日』 平成24年12月15日（日）

『場所』 ①日向神ダム湖畔  
②矢部地区内の河川（5か所）

『内容』 ①桜の苗木100本植栽、支柱打ち込み、苗木との結束、施肥、枯木の除去等  
②河川に堆積した流木・大木の伐採、除去、搬出、清掃作業

### 【事業効果及び今後の展望】

今回の作業は、一般のボランティアではなかなか難しい作業もありましたが、それぞれ専門職の指導のもと雨天寒風にも拘わらず汗だくになりながらの作業でした。県立公園の一角でもある日向神ダム湖畔は、将来、植樹した桜苗木が大きく育ち、観光客や地元住民を楽しませてくれることでしょう。また河川の流木除去は、地元だけでなく下流域住民の安全・安心にも繋がるのではないかと思います。今後も、地域への更なる愛着心と住民の結束を図り活力を高めるため、地域の課題を発掘しながら意義のある活動を継続していきたいと考えています。



▲ 桜の苗木植栽作業



▲ 流木の除去作業

# 平成24年度未来づくり協議会の取組み

開催日	事業名	事業の詳細	参加者
平成24年 4月23日	第1回役員会	○平成24年度 「第1回未来づくり協議会」要領検討	会長、副会長 事務局
6月4日	未来づくり協議会総会 (第1回 未来づくり協議会)	○平成24年度役員体制について ○未来づくり協議会の重点活動について ○平成24年度事業計画・予算について ○市執行部との意見交換会	協議会委員42名 市執行部16名 事務局、支所5名
8月28日	第2回役員会	○「平成24年度地域づくり研修会」要領等検討 及び先進地視察研修について	会長、副会長 事務局
10月23日	第3回役員会	○「平成24年度地域づくり研修会」役割分担 及び先進地視察研修について	会長、副会長 事務局
10月23日	平成24年度 「地域づくり研修会」	○地域づくり活動事例発表(2団体) ・矢部地域づくり協議会 ・大淵地区自治運営協議会 ○講演会 ～宮崎県五ヶ瀬町にみる～ 地域づくり秘話とリーダーの役割 講師：(株)地域振興研究所 所長 須川一幸氏	来賓(市長、議長) まちづくり協議会 構成員、公民館長、 議員、区長、市民 参加者 200名
12月3日 ～4日	先進地視察研修 (1泊2日)	○地域づくりに関する先進的事例調査 宮崎県五ヶ瀬町「夕日の里づくり推進会議」	協議会委員41名 事務局4名 支所5名
平成25年 1月18日	第4回役員会	○視察研修の総括(収支報告)及び 「第2回未来づくり協議会」要領等検討	会長、副会長 事務局
2月12日	第2回 未来づくり協議会	○地域づくり活動事例発表(4団体) ○未来づくり協議会事業を振り返って ○市執行部との意見交換	協議会委員42名 市執行部16名 事務局、支所5名
3月1日	情報誌の発行	未来づくり協議会事業報告及び 校区まちづくり協議会地域づくり事業紹介	(全戸配布)

## 地域づくり研修会

期日：平成24年10月23日開催

場所：おりなす八女はちひめホール



### ＜第1部＞ 地域提案事業を实践してきた事例発表

#### ◆矢部地域づくり協議会 「発表者：仁田原石義さん」

◇飯干地域内「白の払地区」に伝わる風の神について、先人たちが残した記録・史跡の資料編集と、史跡環境整備(遊歩道の補修や周辺整備)についての活動報告。

#### ◆大淵地区自治運営協議会 「発表者：谷口健一さん」

◇過疎と少子化が進む中で、米と花をキーワードに「コメ花プロジェクト」を立ち上げ、消費者と地域住民の交流や活性化に向けた取り組みの報告。

### ＜第2部＞ 講演会

#### ◆演題：「～宮崎県五ヶ瀬町にみる～地域づくり秘話とリーダーの役割」

講師：(株)地域振興研究所長 須川一幸氏

◇「グリーン・ツーリズム事業」を地域おこしにスタートさせた、五ヶ瀬町桑野内地域についての紹介。  
地域づくりには地域の歴史や文化など地域の資源を大事にすることが活性化の道。